

| | | | | | | | |
|---|--|-----|------|---------|---|-------------------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 介護総合演習 I (DD212) | | | 担当教員 | 大町 いづみ 浦 秀美 久田 貴幸 | | |
| 展開方法 | 演習 | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 2 年・通年 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| <p>本演習は、<u>介護実践に必要な知識と技術の統合を行うとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする</u>。そして、介護実習 I を円滑にすることを目的とし、実習の教育効果を上げ介護観を育てる事がねらいである。介護福祉士を目指す自覚を持ち、資質や能力を養っていく。</p> <p>演習では、実習施設に関する事前学習を行う。また、介護技術の確認や施設オリエンテーションのための訪問に向けた学び等、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習を行い、介護実習 I の内容を身につける。実習終了後は実習を振り返り、介護の知識や技術、実践を統合し、残された課題を深化する。</p> <p>本演習を受講することで、本学のディプロマポリシーでも示されている（介護福祉士としての）専門知識・技術を修得し、課題解決を図ることができるようになることもねらいとしたい。</p> | | | | | | | ①②④⑤⑥⑦ ⑫ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習で何を学びたいかを説明できる。 ・実習後、学んだことや残された課題を深化させることができる。 ・実習時の学びを発表できる | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・実習計画書 ・介護技術研究 ・発表 | 10% 20% 30% | |
| 情報収集、分析力 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習評価（自己評価・他者評価）を自己分析できる。 ・実習施設に関する情報を収集しまとめることができる。 ・自己覚知をした上で、実習プロフィールをまとめることができる。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・評価レポート ・実習計画書 ・実習プロフィール表 | 5% 5% 5% | |
| コミュニケーション力 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習後の報告会で他の学生とディスカッションができる。 ・グループメンバーと協力しながら準備を進めることができる。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・実習後報告会 ・介護技術研究 | 5% 10% | |
| 協働・課題解決力 | <ul style="list-style-type: none"> ・実習課題を的確に把握し、課題解決に向けた計画を立案し、着実に実行することができる。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート | 10% | |
| 多様性理解力 | | | | | | | |
| 出 席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合 計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・実習計画書（15%）：実習要綱をもとに自身が行いたいことを明確にして計画書に反映しているかによって評価する。 ・介護技術研究（30%）：研究取り組み状況にて評価する（ディスカッション、調べ学修、成果レポート作成）。 ・発表（30%）：介護技術研究の成果の発表にて評価する（発表スキル、研究成果レポート・スライドによる発表）。 ・評価・課題レポート（15%）：実習評価の自己分析や残された課題についてレポートしているかによって評価する。 ・実習プロフィール（5%）：自己覚知に基づいたプロフィール作成にて評価する。 ・実習後報告会（5%）：実習後に行われる報告会に向けた準備状況や報告状況にて評価する。 <p>評価レポートや課題レポートは、ポートフォリオ等を活用しながら、教員所見を付したものを返却したり、発表時にフィードバックを行う。</p> | | | | | | | |
| 授 業 の 概 要 | | | | | | | |
| <p>介護実習 I (夏・春)それぞれの実施時期に合わせた、事前・事後学習も含めた科目である。これまでに学んだことについて演習を通して確認し、学習到達状況に応じて総合的に学習する。また、実習に関するオリエンテーションも行う。実習の振り返りを実習後報告会で行う。本授業全体を通し、ディスカッションや個人ワーク、グループワークを取り入れる。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p> | | | | | | | |
| 教 科 書 ・ 参 考 書 | | | | | | | |
| <p>教科書：介護福祉士養成講座編集委員会（2019）最新介護福祉士養成講座 10『介護総合演習・介護実習』 中央法規出版株式会社</p> <p>参考書：長崎国際大学介護実習要綱、実習記録、その他授業時に配布する</p> <p>指定図書：適宜授業時に提示する</p> | | | | | | | |

授業外における学修及び学生に期待すること

本演習は介護実習と関連する科目です。社会に出るということを意識し、社会人としての対応を求めます。授業の欠席や遅刻、提出物の期限厳守などについては十分気をつけて下さい。

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|-------|--------------------------|--|--|
| 1 | 実習オリエンテーション | 介護総合演習と介護実習の意義について学ぶ。 実習スケジュールを把握する。(大町・浦・久田) | 予：教科書を読んでくる 復：配付資料整理 |
| 2 | 実習オリエンテーション | 実習要綱等を用いて、介護実習Ⅰの意義や目的を理解し、実習における留意点の確認を行う。 (大町・浦・久田) | 予：実習要綱の確認 復：配付資料再読 |
| 3 | 施設・事業所の理解 | 実習先の施設や事業所に関する事前調査を行い、実習先が持つ機能や担う役割を理解する。(大町) | 予習：実習先を調べる 復習：配付資料の再読 |
| 4 | 施設・事業所の理解 | 事前学修で行った内容をまとめて発表を行う。他者の発表・ディスカッションを通して学びを深める。 (大町・浦・久田) | 予習：発表の準備を行う 復習：配付資料の再読 |
| 5 | 実習時の感染予防法 | 実習全期間を通した感染予防法と実習時における留意点の確認を行う。(大町) | 予習：事前資料を熟読する 復習：感染予防策についてまとめておく |
| 6 | 知識と技術の統合 介護実習に向けた自己覚知 | 介護実習Ⅰに必要な知識・技術・態度を確認する。 実習プロフィール表・実習計画書の準備を行う。 (大町) | 予：事前学習事項の整理 復：プロフィール・実習事項の整理 |
| 7 | 知識と技術の統合 介護実習に向けた自己覚知 | 実習プロフィール表・実習計画書を完成する (大町・浦・久田) | 予：提出記録の整理 復：プロフィール・計画書修正、完成 |
| 8 | 実習記録の書き方・記録のトレーニング | 一日の実習目標、各実習記録の記入法などを学ぶ。 考察と感想の違い、振り返りのポイントについて学ぶ。 (大町・浦・久田) | 予：実習記録の書き方で不明な点をまとめる 復：実習記録を作成する |
| 9 | 実習記録の書き方・記録のトレーニング | 各実習記録の記入法などを学ぶ。 (大町・浦・久田) | 予：各実習記録をまとめる 復：実習記録を作成する |
| 10 | 実習オリエンテーション | 施設指導者への電話のかけ方、マナー、実習態度についての再確認 (大町) | 予：実習要綱の確認 復：配付資料整理 |
| 11 | 実習前最終オリエンテーション | 介護実習における情報の取り扱い、注意事項の確認、実習の進め方、記録の提出など最終確認を行う。実習施設での事前オリエンテーションの確認を行う (大町・浦・久田) | 予：実習要綱、体調管理必要事項確認 復：最終準備を行う |
| 12 | 介護実習後のまとめ | 介護実習Ⅰを終えて、実習施設へのお礼状の作成や各レポートの作成・実習報告会についての準備、確認を行う。(大町・浦・久田) | 予習：各提出実習記録をまとめておく 復習：自己の課題をまとめる |
| 13 | 介護実習後のまとめ | 介護実習Ⅰを終えて、各レポートの作成・実習報告書を完成させる (大町・浦・久田) | 予習：レポートを作成して 復習：プレゼンの原稿を完成させる |
| 14～17 | 介護実習Ⅰ振り返り(実習報告会) | 介護実習Ⅰにおける学びの内容をもとに、資料を用いてプレゼンテーションを行う。(大町・浦・久田) | 予習：資料の準備を行う 復習：ディスカッションをもとに自己の課題をまとめる |
| 18～29 | 上記1回目から12回目と同様 | 上記1回目から12回目と同様 | 上記1回目から12回目と同様 |
| 30 | まとめ | 実習後の自己評価、他者評価をもとに事故の課題を明確にできる。 | 予：本演習での学びの整理 復：本時の整理 |